



# 「佐賀関地域まちづくりビジョン」とは

急速な少子高齢化が進む中、大分市においても今後人口が減少することが予想され、地域住民同士の支えあいや交流が少なくなるなど、さまざまな課題が懸念されています。これらの課題を解決するためには、行政が地域の実情や意向などを的確に把握し、市政への反映に努めることが必要と考えております。

このような状況を受け、地域の活力維持・増進を図ることを目的として、市内13地域において、各地域の代表者等でつくる「地域ビジョン会議」を設置し、その中でそれぞれの地域の現状と課題などを議論し、地域のまちづくりを進めるうえで目指すべき将来像として「佐賀関地域まちづくりビジョン」を策定しました。

## 【佐賀関地域の対象校区】

佐賀関地域まちづくりビジョンは、本神崎・木佐上・大志生木・関・一尺屋の5校区を対象としています。

## 【佐賀関まちづくりビジョンの将来像】

来て良し 住んで良し 美しい佐賀関

## 【これからのまちづくりに向けた市長への提言】

### 提言1：人が集まる観光振興対策

本地域は豊かな自然から生まれた海の幸・山の幸、海水浴場、観光スポット、市外の方も楽しめる地域伝統行事など、観光資源が多くあります。

地域資源をより有効に活用するため、分かりやすい情報の発信や、観光客が来たくするような拠点・仕組みづくりが求められます。

### 提言2：コミュニティの維持・活性化

都市部と比較すると、住民同士の関係が密接で、行事などの住民交流、高齢者の見守りや災害時の助け合い体制が構築されています。

このような体制を維持していくために、次世代を担う若者も交えた地域交流を促進し、コミュニティを活性化させる取組が必要です。

### 提言3：便利で快適なまちづくり

本地域は自然環境が豊かな一方、住宅や交通の便が少ないことや買物・娯楽施設の不足、農作物への有害鳥獣被害などの弊害があります。

美しい自然環境を保持しながらも、生活の利便性を向上するための基盤整備や支援を望みます。

## 【提言に基づく事業提案と概要】

| 提言    | 番号 | 取組事業名と概要  |
|-------|----|---|
| 提言1   | ①  | <b>佐賀関中心部の観光振興(インフラ整備)</b><br>・支所周辺に観光客が食事をできる場所や土産店をつくり、駐車場を整備するなど人を呼び込む仕掛けをつくり、まちを盛り上げる。  |
|       | ②  | <b>大志生木小学校跡地の利活用</b><br>・アクセス道路の整備と合わせ、グラウンドは公園やテニスコートに、校舎はいこいの場やアーティストのアトリエ・工房などに整備、利用する。<br>・地域と行政が協力し、アートイベント等を地域の行事と連携しながら実施して地域のにぎわいにつなげる。<br>・ツールド佐賀関のようなサイクリングイベントを開催し、大志生木小学校跡地を休憩ポイント等の拠点として利用する。                  |
|       | ③  | <b>人が集まるまちづくり</b><br>・日豊海岸国定公園の美しい景観や早吸日女神社、関崎灯台、関崎海星館から見た早吸瀬戸・高島など、観光資源をPRするためボランティアガイドと連携したまちづくりを行う。<br>・「関あじ・関さば」の知名度を向上し、観光客を増やす。<br>・「一尺屋みかん」をPRし、収穫体験などにより農業振興に取り組む。  |
|       | ④  | <b>地域のホームページ作成・情報発信</b><br>・各校区のホームページ等を作成して、地域の観光資源や名産をPRする。   |
| 提言2   | ⑤  | <b>高齢者が安心して住めるまちづくり事業</b><br>・総合病院である佐賀関病院と連携して健康づくりを推進する。<br>・気軽に高齢者が集まれるミニサロンを開催する。   |
|       | ⑥  | <b>若者も参加する地域まちおこしイベントの実施</b><br>・NPOや商工会議所のほか、行政も入って多くの人が参加するイベントを実施し、地域のために活動できる若者を育成する。   |
| 提言3   | ⑦  | <b>交通弱者対策事業</b><br>・JRと連携し、JR幸崎駅から佐賀関半島循環バスを運行する。<br>・バスとJR幸崎駅との接続の利便性向上。<br>・高齢者にもっと出掛けてもらうため、ワンコインバス(現、長寿応援バス)やコミュニティバス、乗合タクシーの運行を行う。   |
|       | ⑧  | <b>有害鳥獣の捕獲拡充とジビエ料理への活用</b><br>・イノシシ等の狩猟免許の規制緩和による捕獲と、ジビエ料理の研究・販売・提供に係る施設等を整備し供給を拡大する。   |
| 提言1・2 | ⑨  | <b>さまざまな地域資源を生かした人が集まるまちづくり</b><br>・関崎灯台、関崎海星館(アサギマダラを含む)、樅の木山セラピーロードなどの資源を生かした観光ルートを作り、道路網や案内板等も整備する。<br>・JR幸崎駅から、かつての軽便鉄道の廃線敷をたどって佐賀関バスセンターまで、約10kmの「さかのせきサイクリングロード」をPRする。<br>・関崎海星館のプラネタリウム等の設置や学校跡地を活用した青少年の教育拠点の整備を行う。 |
| 提言1・3 | ⑩  | <b>佐賀関港周辺の再開発や整備</b><br>・佐賀関港から支所周辺までの動線を整備し、買い物場所や釣りスポットをつくる。<br>・佐賀関港から支所周辺まで自動運転車両を運行し、人の流れをつくる。   |
| 提言2・3 | ⑪  | <b>幸崎駅を中心とした定住化促進事業</b><br>・高齢者や認知症の方を集めて実施している食事会などの福祉活動を市の支援を受けながら拡充する。<br>・幸崎駅周辺市有地の活用について、地域と行政と一緒に協議し、空家、空地の活用や住宅整備を行う。<br>・各校区で「まちづくり協議会」を設立し、市民参画のまちづくりを実施する。  |